

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	中等度冠動脈狭窄病変における患者被ばく線量の比較
研究責任者（所属名）	板井 宏孝（放射線科）
本研究の目的	<p>令和5年12月、当院にFFRangioシステムが導入された。FFRangioシステムは人工知能（AI）の搭載によって、造影画像から3次元画像を作成し、FFR値を算出可能である。さらに、従来型のFFRと異なり、ワイヤーの挿入や血管拡張薬を投与するといった侵襲的な行為が必要なく、精度の高いFFR値を得ることが可能となった。</p> <p>今回の研究では、両者間の放射線被ばくに着目した。従来型のFFRとFFRangioシステムにおいて、患者被ばく線量、透視時間および造影剤量の比較・検討を行い、FFRangioシステムの有用性について考察を行う。</p>
調査データの該当期間	2023年4月から2024年9月まで
研究の方法 （使用する試料等）	上記期間にてFFRもしくはFFRangioを行った患者データを本研究の対象とする。また、データの内訳としては、患者年齢、性別、身長、体重および検査の患者被ばく線量、透視時間、造影剤量、画像撮影枚数を使用する。これらデータを使用して、両者間の比較・検討を行う。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120（代表） 担当者：管理課長
備考	